

# 頭のよい子が育つ家

## フェリス女学院中学に合格したEさんの家

横浜 / 4人家族 (父、母、Eさん、妹) / 3階建て1軒家 (2LDK)

パートⅢ

### 3階建て吹き抜けのおうちで、家族の【音】が伝わる

横浜の外れの木造3階建てロフト付のおうちと、2人姉妹がこのお宅の主人公です。男の子とくらべますと、女の子の部屋は、整理・整頓が行き届いているケースが多いのですが、このお宅でも、お姉ちゃんで小学校6年生のEさんと3つ下の妹さんが、おうちのなかを実にきれいに使っていました。

さて、この家の構造上の最大の特徴は1階から3階まで吹き抜けになっている点でしょう。

1階にトイレ、風呂、収納スペース。2階にあるのはリビングとダイニング。3階は、お父さんお母さんの寝室とEさん姉妹の共同子ども部屋。子ども部屋はロフトにはしごで上がれるようになっています。

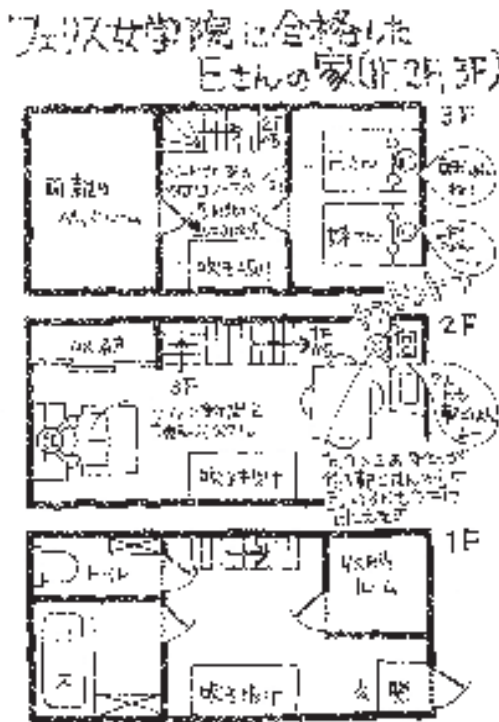
そして、斜めに傾斜した南向きの屋根にしつらえられた天窗から明るい光が1階、2階、3階まで届く、というわけです。それだけじゃありません。どの階に家族がいようと、常におたがいの気配を感じることができるのです。

開放的で、かつ家族のきずなが常に感じられる空間の実現。これが、Eさん宅における「頭のよい子」が育つための、おうちの工夫のポイントです。

都市部の限られた敷地で、少しでも住宅面積を広く取ろうと3階建てにしたり、ロフトを設けたり、というのはよく聞きます。が、あえて吹き抜けをつくるケースは比較的めずらしい。というのも、吹き抜けをつくれれば、当然2階3階のスペースの一部が犠牲になりますから。部屋数を多くとりたい、部屋を広くしたい。そう思うとなかなか実行には移せませんよね。

けれどその一方で、3階建ての家というのは各フロアが分断されやすく、各部屋が孤立しやすい。コミュニケーションがとりにくくなる、という構造上の欠点があります。

本書で何度も繰り返しているように、「頭のよい子」が育つための最大条件は、「子どもたちがおうちのなかで家族としっかりコミュニケーションできていること。それだけに、広さよりも、あえてコミュニケーションをとりやすい構造を優先させたEさん宅は、先見の明があるといえますよ。



吹き抜けで通じ家族の音は伝わる家。

朝のEさん宅にちょっとお邪魔してみます。

一日のスタートは屋根のトップライトを通じて入ってくる、太陽の光から始まります。

3階の子ども部屋のベッドで寝ているEさんと妹さん。顔に朝日が当たれば、2入とも目覚まし時計なしで目が覚めます。

すると、階下から耳に聞こえてくる、心地よい音。

「トントん、トントん、

どうやら、2階のダイニングで、お母さんが朝ごはんの支度を始めたようです。お、バターの焦げる香りがしてきました。

(うーん、今朝はオムレツかな)

ベッドの中でぐずぐずしているEさん、急におなかが空いてきました。

さっと、ベッドから起きて、窓をあけると、朝の新鮮な風が、ほほをなでます。思い切り深呼吸。朝の美味しい空気をおなか一杯吸い込みます。

「ほら、あんたも起きなさい！ ご飯よっ」

Eさんは、まだベッドの中でまるまっている妹から掛け布団を剥ぎ取ると、たっただと階段を降りて、ダイニングへ。

「遅いわよ。早く食べないと、遅刻しちゃうわ」

お母さんにせかされながら、Eさんも妹さんも、そしてお父さんも朝食をとります。

「行ってきま〜す」

「今日、塾でしょ？」

「うん、いちど帰ってくる。だから夕飯、遅めでね」

「はいはい、いってらっしゃい」

Eさんのお宅では、こんな具合に家族が毎朝、自然に起き、自然に朝ごはんをとり、自然に会話をする習慣が根付いているわけです。

お母さんにお聞きしたところ、吹き抜けを作ったことでスペースはそのぶん狭くなりましたが、家族の気配を家のどこにいても五感で感じられる、何より家族の“音”に敏感になったことが「ほんとうによかったんです」とのお話でした。

いまの住宅建築では、高気密・高断熱・上下階の生活音を吸収する技術…といった具合に、人の出す“音”をやっきになって消そう消そうとしている傾向が明らかにあります。たしかに、そういった技術のおかげで日本の住宅は、きわめて“静か”になりました。

けれども、“頭のよい子”を育てるには、なんでもかんでも消音すればいい、というものではないことが、Eさん宅のケースからよくわかりいただけると思います。

Eさん宅では、家族のたてる“音”を媒体に、家族が有効なコミュニケーションをとっています。ちょっとスペースを割き、吹き抜けをつくることで、それが可能となりました。Eさん宅が得たものは、とても大きなものだったと思います。その得られたひとつの成果が、Eさんがあこがれのフェリス女学院中学に合格できたことでしょう。

